

スポーツ科学

科目責任者 村山晴夫
学年・学期 1学年・1,2学期

I. 前 文

身体運動やスポーツ活動に勤しむことは、心身の健全な発達・健康の促進において極めて重要である。また、スポーツ実践を通し、社会性、協調性、公正な判断や規則遵守の態度を学ぶことで、良好な集団活動ができるようになる。

II. 担当教員

准教授 村山晴夫（基盤教育部門）
講師 枝伸彦（基盤教育部門）

III. 一般学習目標

1. 基礎体力の向上について理解する。
2. 身体運動やスポーツ活動の習慣化の重要性を理解する。
3. ゲームを通しての技術向上や集団内における協調性について理解する。
4. 公正な判断や正確なルール遵守について理解する。
5. 科学的知見を正確に理解し、自らの意志で判断し行動できるようにする。

IV. 学修の到達目標

- 1) 集団活動を実践することで協調性を養う。
- 2) 基本練習を積極的に行い、正確かつ安全な技術習得を目指す。
- 3) 各自及び集団において、安全管理意識を基盤とする活動を行う。
- 4) 各自が健康管理につとめ、体力の維持増進を図る。

V. 授業計画及び方法 * ()内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション
6: その他 空欄: 該当なし)

A クラス

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	4	21	火	4	[体育・スポーツ] オリエンテーション・体ほぐし運動	村山晴夫 枝伸彦	6 実技
2		28	火	4	[体育・スポーツ] 体ほぐし運動・体力測定	〃	6 実技
3	5	12	火	4	[体育・スポーツ] 体力測定	〃	6 実技
4		19	火	4	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, ソフトボール, アルティメット (フライングディスク)	〃	6 実技
5		26	火	4	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, ソフトボール, アルティメット (フライングディスク)	〃	6 実技
6	6	2	火	4	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, ソフトボール, アルティメット (フライングディスク)	〃	6 実技

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
7	6	9	火	4	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, ソフトボール, アルティメット (フライングディスク)	〃	6 実技
8		16	火	4	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, 卓球, ストレッチング等	〃	6 実技
9	7	7	火	2	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, 卓球, ストレッチング, アダプトッド・スポーツ (ボッチャ, モルック) 等	〃	6 実技
10		14	火	2	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, 卓球, ストレッチング, アダプトッド・スポーツ (ボッチャ, モルック) 等	〃	6 実技
11	8	18	火	2	[体育・スポーツ] バスケットボール, バレーボール, バドミントン, 卓球, ストレッチング等	〃	6 実技
12		25	火	2	[体育・スポーツ] バスケットボール, バレーボール, バドミントン, 卓球, ストレッチング等	〃	6 実技
13	9	1	火	2	[体育・スポーツ] バスケットボール, バレーボール, バドミントン, 卓球, ストレッチング等	〃	6 実技
14		8	火	2	[体育・スポーツ] バスケットボール, バレーボール, バドミントン, 卓球, ストレッチング等	〃	6 実技

Bクラス

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	4	21	火	4	[体育・スポーツ] オリエンテーション・体ほぐし運動	村 山 晴 夫 枝 伸 彦	6 実技
2		28	火	5	[体育・スポーツ] 体ほぐし運動・体力測定	〃	6 実技
3	5	12	火	5	[体育・スポーツ] 体力測定	〃	6 実技
4		19	火	5	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, ソフトボール, アルティメット (フライングディスク)	〃	6 実技
5		26	火	5	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, ソフトボール, アルティメット (フライングディスク)	〃	6 実技
6	6	2	火	5	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, ソフトボール, アルティメット (フライングディスク)	〃	6 実技
7		9	火	5	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, ソフトボール, アルティメット (フライングディスク)	〃	6 実技
8		16	火	5	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, 卓球, ストレッチング等	〃	6 実技
9	7	7	火	3	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, 卓球, ストレッチング, アダプトッド・スポーツ (ボッチャ, モルック) 等	〃	6 実技
10		14	火	3	[体育・スポーツ] バレーボール, バドミントン, 卓球, ストレッチング, アダプトッド・スポーツ (ボッチャ, モルック) 等	〃	6 実技
11	8	18	火	3	[体育・スポーツ] バスケットボール, バレーボール, バドミントン, 卓球, ストレッチング等	〃	6 実技

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
12	8	25	火	3	[体育・スポーツ] バスケットボール, バレーボール, バドミントン, 卓球, ス トレッチング等	〃	6 実技
13	9	1	火	3	[体育・スポーツ] バスケットボール, バレーボール, バドミントン, 卓球, ス トレッチング等	〃	6 実技
14		8	火	3	[体育・スポーツ] バスケットボール, バレーボール, バドミントン, 卓球, ス トレッチング等	〃	6 実技

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

以下のとおり成績評価する。（ ）内は評価の割合。

1. 授業に対する姿勢・態度（70%），事後レポート（30%）
※以下，履修上の注意点
2. 原則として遅刻は認めない。
3. 既往症のある者は事前に届けること。
4. 原則として疾病怪我等のある場合は診断書を添えて欠席届等を提出すること。
5. 運動シューズ（屋内および屋外用）と運動着（トレーニングウェア等）を各自用意すること。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

特に教科書等は使用せず，必要な資料等については適宜配布する。

VIII. 質問への対応方法

随時，受け付ける（E-mail:hmurayam@dokkyomed.ac.jp）。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養，利他の精神，医師に求められる品格を身につけ，豊かな人間性を育み，他の医療者と協調して，多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	○
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び，情報・科学技術を活用して，生涯にわたって自ら問題を発見し，解決することができる	◎
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と，その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し，課題解決に向けて行動することができる	
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み，医学・医療の進歩に貢献することができる	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

適宜，必要に応じてフィードバックする（LMS，紙媒体等にて）。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（20分）：各スポーツ種目における基礎的情報を収集する（概要，ルール，トピックス等）。

事後学習（20分）：自己の振り返りレポート（主観的運動強度評価，グループ活動時の主観的貢献度評価等）を当日中に提出する（LMS）。

XII. コアカリ記号・番号

PR-02-01-01, GE-03-01-02, GE-04-01-04, CM-01-01-01, CM-01-01-02